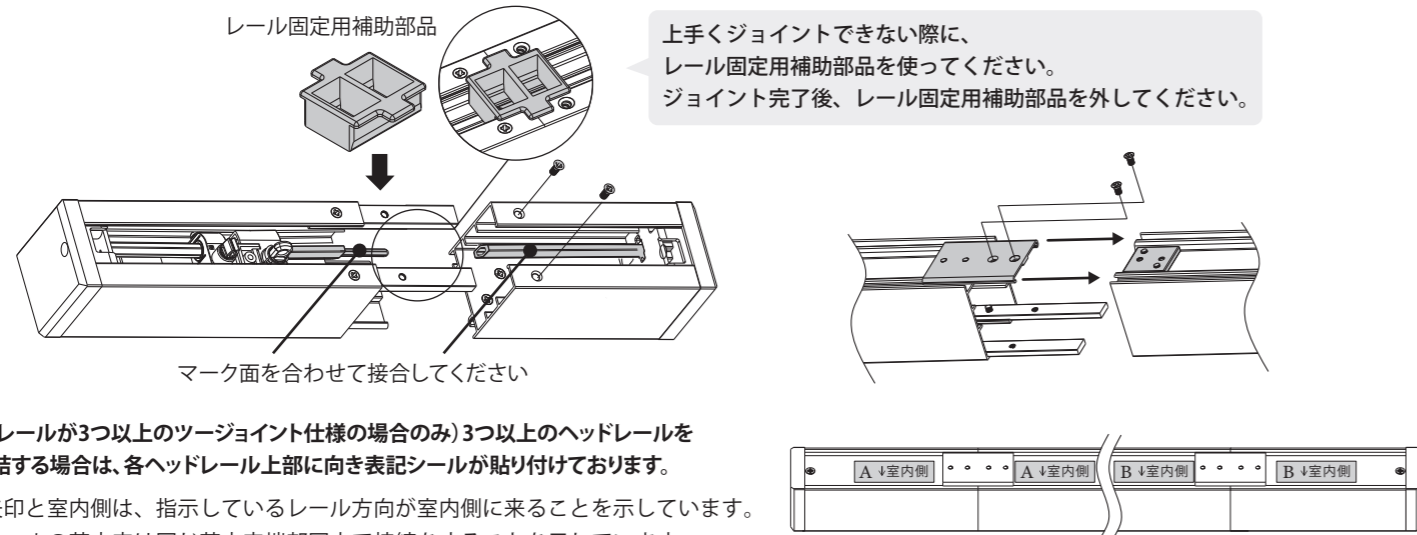


■ 六角ステンレス中実シャフトの接続は正しい位置に。

シャフト上に差し込み側と受け側の両方にマークが付されています。必ずマークに併せて連結を行ってください。



■ (※レールが3つ以上のツジョイント仕様の場合のみ) 3つ以上のヘッドレールを連結する場合は、各ヘッドレール上部に向き表記シールが貼り付けてあります。

- ・ 矢印と室内側は、指示しているレール方向が室内側に来ることを示しています。
- ・ シールの英文字は同じ英文字端部同士で接続することを示しています。

※ 製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

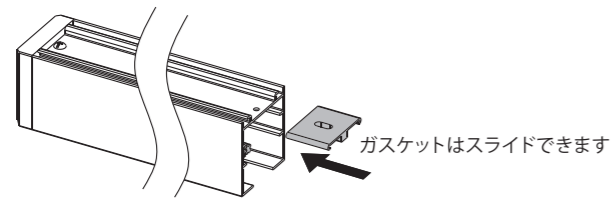
3 ヘッドレール設置部品の取り付け

窓枠天井付け(窓枠の内側に取り付け)

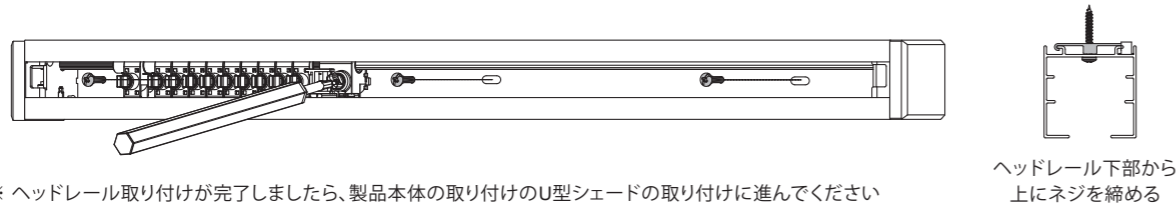
1 ヘッドレールの開梱、バトン取り出し

ヘッドレールの梱包を取り外し、バトンの結束をほどきます。ヘッドレール内の梱包材をすべて取り除いてください。

※ バトンはランナーとつながっております。可動域外に動かさないようにご注意ください。工場出荷時にあらかじめヘッドレールに取り付けている、直付けガスケットの位置を確認します。

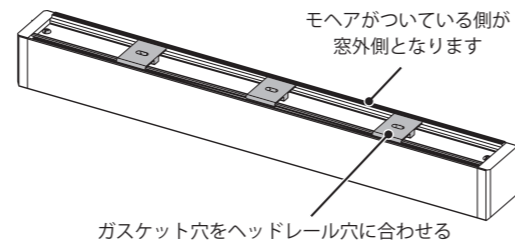


3 ヘッドレール下部から覗き、図のようにパーツの干渉がないネジ穴からネジを締めていきます。その後、パーツをスライドし、残ったネジ穴を締めます。



4 U型シェードの取り付け 5 U型シェードの取り付け をご確認ください。

2 モヘアがついている側を室外側とし、ガスケットの穴をヘッドレール穴に合わせるよう調整します。

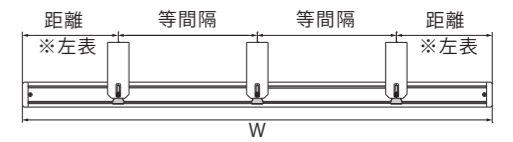


壁面付け(窓枠上の壁面に取り付ける場合)

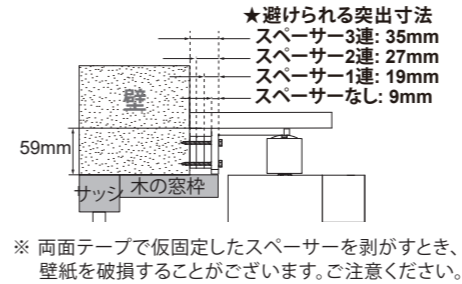
1 ブラケット設置位置を確認

ヘッドレールを実際に設置する位置に合わせ、ヘッドレール両端の位置を確認しましょう。ブラケットを表内の設置位置の規定によって設置します。ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるように配置してください。

ヘッドレール両端部からの距離(mm)
102

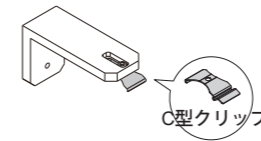


2 樹脂製スペーサーの仮止め(壁面付け、スペーサー使用時のみ) 壁面付けで樹脂製スペーサーを使用するとき、まず取り付け箇所に樹脂製スペーサーを両面テープで仮止めしてください。



4 C型クリップの取り付け

下図の通り、ブラケットにC型クリップをネジで取り付けます。C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。



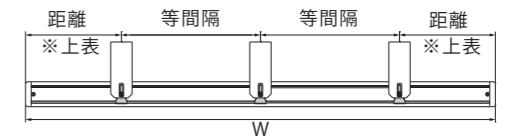
6 U型シェードの取り付け 5 U型シェードの取り付け をご確認ください。

浅天付け

1 ブラケット設置位置を確認

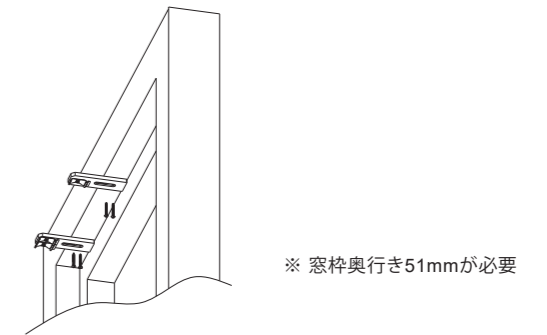
ヘッドレールを実際に設置する位置に合わせ、ヘッドレール両端の位置を確認しましょう。ブラケットを表内の設置位置の規定によって設置します。ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるように配置してください。

ヘッドレール両端部からの距離(mm)
102



2 ブラケットの固定

ブラケットは2本のネジで固定します。採寸時と同様の高さ位置に取り付けてください。全てのブラケットは必ず水平に、かつ高さ位置が揃うように注意して取り付けてください。ブラケットが水平でないで故障や不具合の原因となります。



3 C型クリップの取り付け

下図の通り、ブラケットにC型クリップをネジで取り付けます。C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。



4 ヘッドレールの取り付け

ヘッドレール室内側のツメをC型クリップ手前にかけて①、ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側に噛み合わさるよう下から上に向けて回転させます②カチッと音がするまで押し込んでください。



※ 製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

△ ヘッドレールの前後にご確認ください シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

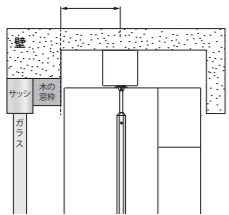
5 U型シェードの取り付け 5 U型シェードの取り付け をご確認ください。

カーテンボックス付け(カーテンボックス天井に取り付ける場合)

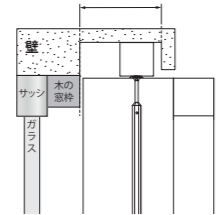
【木製スペーサーなしの場合】

窓枠から設置カーテンボックス
中心までの距離の制限86mm以上

窓枠からカーテンボックスまで
の距離の制限120mm以上



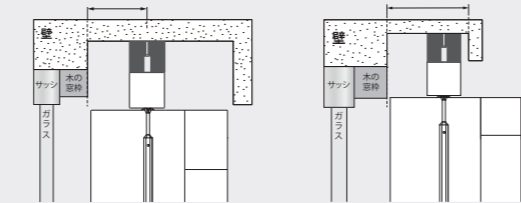
カーテンボックス内
にシェードを収める



カーテンボックス外
にシェードを逃がす

【木製スペーサーありの場合】木製スペーサーの取り付け

窓枠から設置カーテンボックス 窓枠からカーテンボックスまで
中心までの距離の制限86mm以上 距離の制限120mm以上

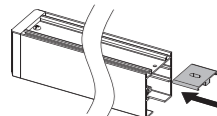


木製スペーサーは、ヘッドレールの直付けガスケットの穴にあたる箇所に合わせて、カーテンボックス壁面部よりは86mm以上離して設置してください。

① ヘッドレールの開梱、バトン取り出し

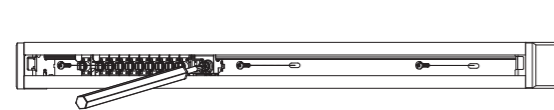
ヘッドレールの梱包を取り外し、バトンの結束をほどきます。ヘッドレール内の梱包材をすべて取り除いてください。
※ バトンはランナーとつながっております。

可動域外に動かさないようご注意ください。工場出荷時にあらかじめヘッドレールに取り付けている、直付けガスケットの位置を確認します。



ガスケットはスライドできます

③ ヘッドレール下部から覗き、図のようにパーツの干渉がないネジ穴からネジを締めていきます。その後、パーツをスライドし、残ったネジ穴を締めます。



※ ヘッドレール取り付けが完了しましたら、製品本体の取り付けのU型シェードの取り付けに進んでください

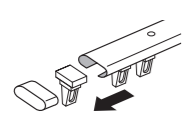
ヘッドレール下部から
上にネジを締める

④ U型シェードの取り付け ⑤ U型シェードの取り付け をご確認ください。

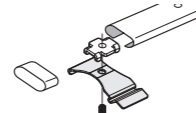
カーテンレール付け(カーテンボックス内)

① H型金具の仮固定

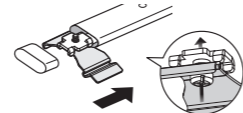
C型クリップとカーテンレール設置用H型金具を合わせ、ネジで仮止めします。仮止めしたC型クリップとH型金具を一緒にカーテンレールの端からスライドさせます。カーテンレール内にH型金具を挿入するため、この時点ではネジを締めすぎないようにご注意ください。



カーテンレールからランナーを外します



ネジを仮止めします



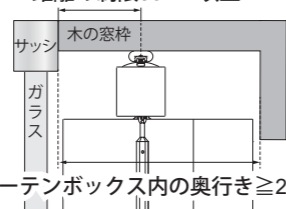
隙間を利用しレールにスライドさせます

② 取り付け位置の確認

ヘッドレールを実際に設置する位置に合わせて、ヘッドレール両端の位置を確認しましょう。設置間隔は壁面付けのブラケットの規定と同様。C型クリップの穴中心が壁面からは86mm以上離れるように設置してください。

カーテンボックス内にシェードを収める

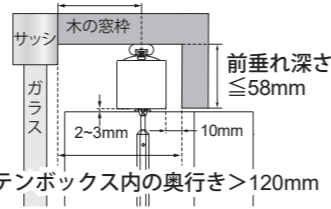
窓枠から設置カーテンレール中心までの
距離の制限86mm以上



カーテンボックス内の奥行き \geq 210mm

カーテンボックス外にシェードを逃がす

窓枠から設置カーテンレール中心までの
距離の制限86mm以上



カーテンボックス内の奥行き $>$ 120mm

③ C型クリップの取り付け

C型クリップをカーテンレールブラケットとずらして専用ボルトで固定します。複数のクリップが壁面に対し垂直・平行な直線を描くよう、設置位置に十分ご注意ください。



※ 画像はイメージです。実際のC型クリップの数量は、ジョイント仕様の場合それぞれ分割されたヘッドレールの長さに対して付属されます。

④ ヘッドレールの取り付け

ヘッドレール室内側のツメをC型クリップ手前かけ①、ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側に咬み合わさるよう下から上に向けて回転させます②カチッと音がするまで押し込んでください。



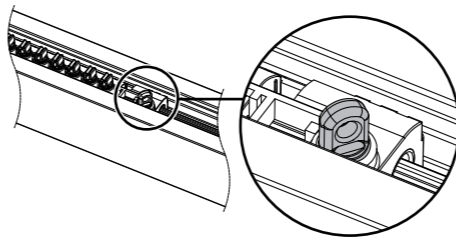
※ 製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

▲ ヘッドレールの前後
にご確認ください シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

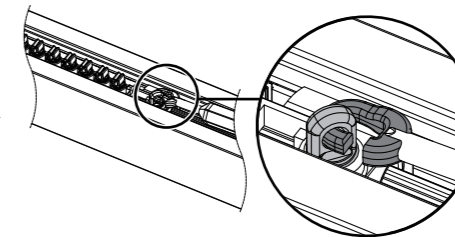
⑤ U型シェードの取り付け ⑤ U型シェードの取り付け をご確認ください。

4 バトンの取り付け(両バトンを選択した場合のみ片方の取り付けが必要です) ※オプション

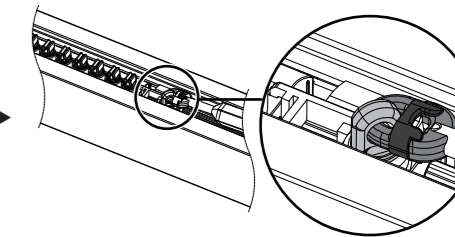
① 操作部リングを45度に調整します。



② バトンを引っかけます。



③ バトンを固定する留め具を取り付けます。



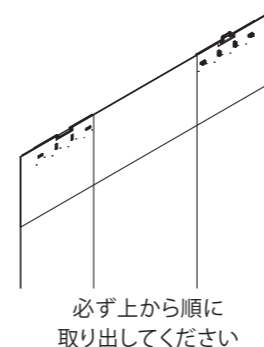
※ 留め具はバトンフック部分から外し別梱包され、ハードウェアボックスに金具と一緒に納品されます。

5 U型シェードの取り付け ※U型シェードは取り付け順に梱包されています。下記手順をよくお読みの上開梱には十分ご注意ください。

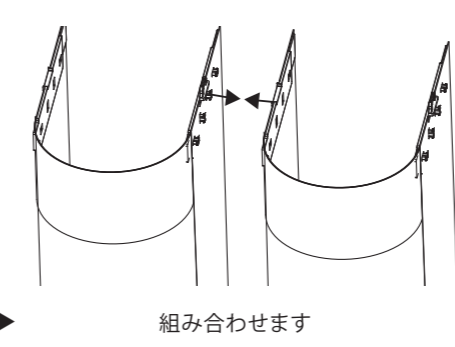
① U型シェードを一枚ずつ、梱包から取り出して広げます。

② U型シェードは上から一枚ずつ順番に取り出して、取り付けてください。2列ある場合、ロール梱包側面に表示されている"Roll No:A"が先順です。

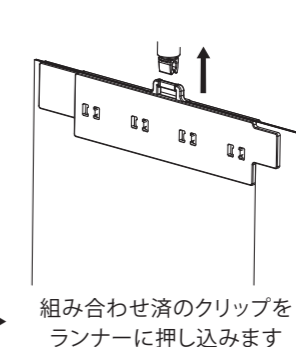
③ U型シェードはレール左側から順に取り付けます。まずU型シェード1枚目の上部にあるクリップ(左)を、ヘッドレール左端のランナーに取り付けます。



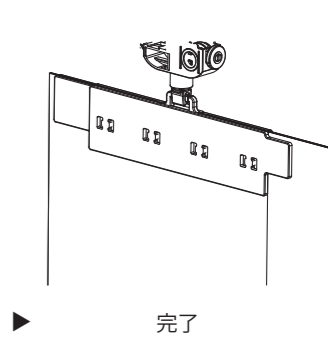
必ず上から順に
取り出してください



組み合わせます

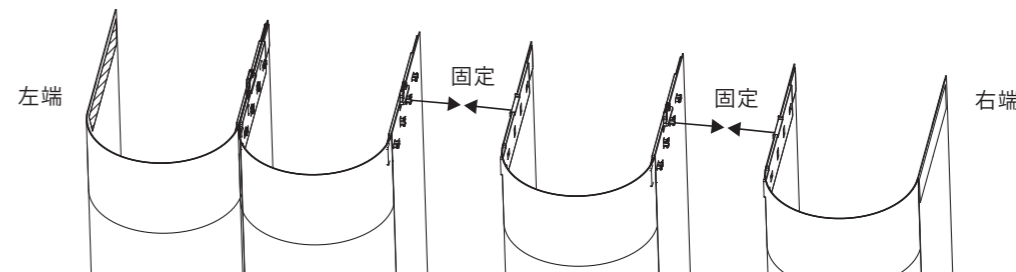


組み合わせ済のクリップを
ランナーに押し込みます



完了

④ クリップには2つの仕様があり、左右両端に設置されるのは穴なし、そのほかは穴付きの仕様です。図のように先にかけた生地の上側クリップと次の生地左側で固定し、次のランナーに取り付けます。



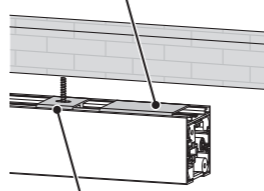
⑤ 5-1~5-4を繰り返し、右端のランナーまで全ての生地を組み合わせ設置し、作業完了です。

連窓接合部の取り付け

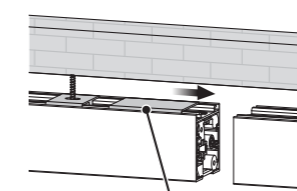
連窓のヘッドレール接合の取り付け方法は、製品の取り付け方法により違いがあります。

窓枠天井付け・カーテンボックス付け

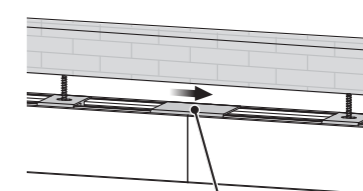
連窓ジョイントパーツ



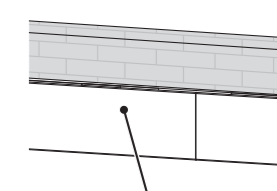
左側のヘッドレールを
ネジで仮止めします。



連窓のジョイントパーツを移動させ、
右側ヘッドレールの位置を決めます。



連窓ジョイントパーツが左右ヘッドレール
の間に来るよう位置を調整します。
右側のヘッドレールをネジで仮止めします。



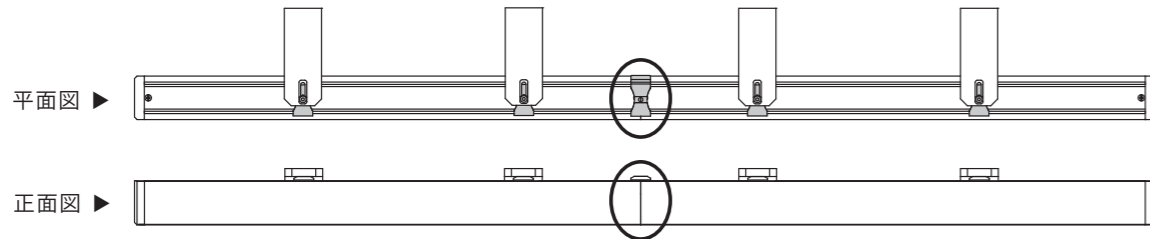
最終位置を決めて、ネジを固定。

※ 製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

壁面付け・浅天付け・カーテンレール付け

取り付けは単窓スタイルと原則同様ですが、接合部分はC型クリップ(レール固定具)で2台のシェードを連結します。

- 浅天付け・壁面付けの場合下図のようになります。
- カーテンレール付の場合はブラケットを除いた外観になります。

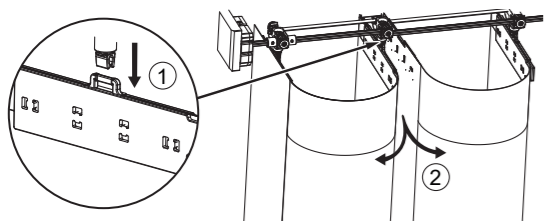


※製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

取り外し方法

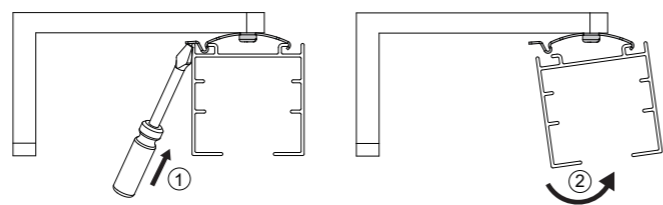
① U型シェードの取り外し

クリップを摘み、ランナーから垂直に下に引いて①、クリップを両側から外します②。



② ヘッドレールの取り外し

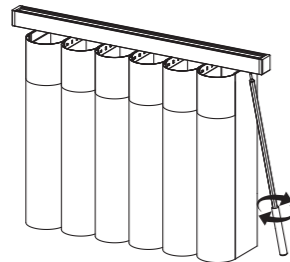
下図①の要領でマイナスドライバーをブラケットのツメの隙間に差し込みつつ、②の方向にヘッドレールを回転させるとツメから外れ、製品をブラケットから取り出すことができます。



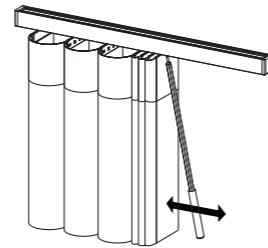
操作方法

シェードを収めたり、広げたりする際には、レース正面開口(生地がU型)状態で行ってください。

① バトンをひねりU型が正面に向くように調整してください。



② 左寄せを例にした場合:バトンを握り、左上に押す要領で収めます。バトンを握り右下にひく要領で広げます。操作中にバトンをひねりしないでください。故障の原因となります。



③ シェード全閉時の調整(単窓・連窓共通)

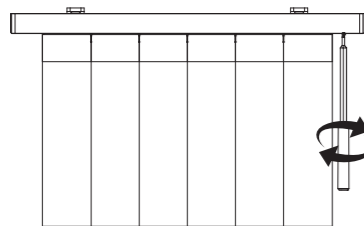
バトンをひねるとシェードが回転します。お好みの遮光レベルに調整してください。

例えば単窓スタイル、左寄せの場合、バトンを時計回りに回しシェードを傾けきると、バトンがシェードの表側に収まります。

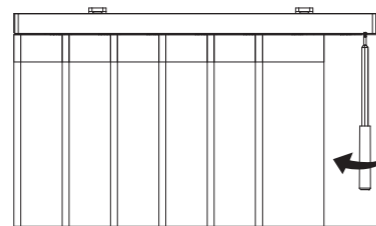
反時計回りに回したらバトンがU型シェードの裏に収まります。右寄せの場合は、左寄せとは動きと収まりが逆となります。

連窓スタイルの場合は、バトンが常にU型シェードの内側に収まった状態です。シェードを完全に展開していない状況(全閉ではない)

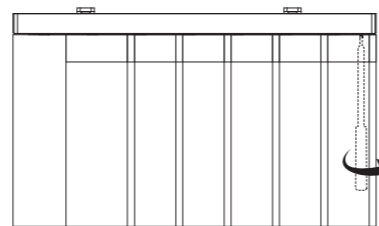
でバトンの開閉操作を行った場合、構造設計上、完全に遮蔽U型シェードを閉めることはできません。



▲ 凡例単窓・左寄せ



▲ バトンがU型シェードの表



▲ バトンがU型シェードの裏

④ シェードの向き異常について

シェードの角度が揃わないときの対処法

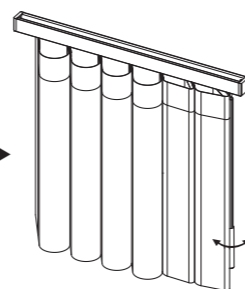
これは故障ではなく、製品操作時の干渉など回転機構部の停止位置にバラつきが生じた際に起こります。

下記手順で戻に元す事が可能です。図のような左寄せの製品で閉合不良がある場合、一度バトンを最大限右に回します。正常部のシェードが遮光状態となった状態で、さらにバトンを回します(カチカチ音5~6回が目安です)。

次にバトンを左に回してください。シェード角度のバラつきが解消されます。

右寄せの場合は回転方向を逆にし、上記同様の手順でお試ください。

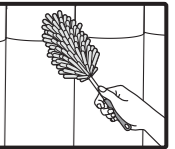
バトンを垂直に回してください



お手入れ方法

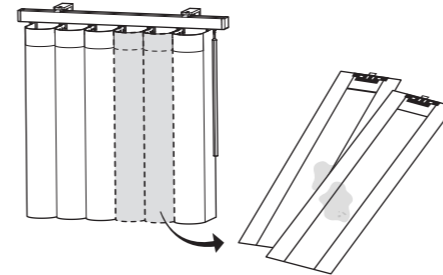
■ 普段のお手入れ

ハンドモップなどを用いて、こまめにほこりを落とすことを心がけてください。NORMAN®スマートドレープシェードには防汚加工処理が施されているので、毎日のお掃除の際にほこりを除去しているだけでも長く美しいドレープを保つことができます。

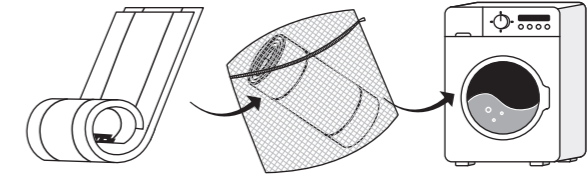


■ 洗濯するときは(※1)

1. 洗濯が必要なU型シェードをランナーから取り外します。



2. U型シェードをクリップ端より丸めて、クリップが内側に入るように折りたたみ。シェード1枚につき1つの洗濯ネットを使い洗濯機に入れます。



液温は30度を限度とし、洗濯機の弱水流または弱い手洗いで洗ってください。

3. 30度までの水で、洗濯機のおしゃれ着用洗濯モードまたは弱水流、もしくは手洗いで洗ってください。

基本的に洗剤の使用はお勧めしませんが、特に汚れがひどい場合は市販のおしゃれ着用中性洗剤を使用し、弱水流モードでの洗濯が可能です。

4. 脱水はしないでください。U型シェードを取り出し、水が滴らないようまでタオル等で水気をとりま。

5. 水が滴らなくなったら、再度レールに取り付けます。しわが生じないように、U型シェードを展開させ吊り下げた状態で自然乾燥させます。(※2)

※1 洗濯により生地に施された防汚機能が低下することがあります。どうしても洗濯が必要な場合を除き、「普段のお手入れ」をこまめにさせていただくことをお勧めいたします。

※2 ドライヤーの低温モードの風を当てることにより、より短時間で乾かすことができます。

※3 シェードは90~120℃程度のスチームアイロンをかけることも可能です。

免責事項

生地(シェード)に生じる自然現象についてご理解ください

極端な環境下での使用は、生地に伸縮や損傷を生じる可能性がございますので、あらかじめご理解の上ご購入いただけますようお願いいたします。

■ 色変化について:

日照時間やその内容によっては、色見に変化が生じる可能性がございます。紫外線の影響で生地に色褪せが生じることがございます。一般的には、生地が重なる箇所では日差しの影響が少なく、直射光を受ける生地と比較して色褪せが遅くなります。生地のパターンや色は、ロットによって差異が生じることがございます。同部屋で使用する製品は同時期の発注を推奨いたします。

■ しわについて:

洗濯後または長期間の輸送によって生地にしわが生じることがございます。多くの場合はレールに懸架し数日経過すると解消されます。アイロン(低温スチームモード)で解消することもできます。

■ 生地を洗濯すると出荷時の防汚処理性能が低下します。製品の美しいイメージを長く保つために毎日こまめにお手入れいただくことをお勧めいたします。

■ 生地のパターンや色味は、ロットにより極僅かに差異が生じることがございます。同色または同部屋で使用する製品はできるだけまとめてご注文ください。

■ レース開口時、室外側のシェード背端が直線に揃わないことがあります。

■ 生地の特性または環境の影響などにより、シェード下部において必ずしも美しいU型を維持することはできません。

また、室内側生地先端(または室外側生地背端)の並びが直線状に揃わないことがあります。製品高さに比例して起きやすい現象です。

■ 連窓スタイルにて全閉遮光時、接合部分の遮光効果が他部分と比較すると若干劣ります。

■ 輸送の影響により、生地にしわが生じることがございますが製品品質を損なうものではありません。

しわ部分は低温・スチームのアイロンなどで整えてください。生地を洗濯すると裏地が若干綻び、めくれが生じることがございます。その際も、低温・スチームのアイロンなどで整えてください。

■ 自然現象でシェード最上部にほつれが生じる可能性がございます。ハサミなどでほつれをカットしていただいで問題ございません。

梱包材の処理方法

■ 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処理してください。

■ 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

メンテナンスシールについて

■ お買い上げいただいた製品情報はメンテナンスシールに記載しております。製品に関するお問い合わせはメンテナンスシールをご確認ください。

ノーマンジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-15 A-PLACE 代々木3階

お客様サービス窓口: 0120-051-507 (お問い合わせ時間: 平日9時30分~18時)

ホームページアドレス:

<http://www.norman.co.jp>